

バカ豆知識

ドイツの古い語に、無駄骨を折ることを「馬鹿を折る」といふ。これを「あいつは馬鹿だ」といふ。また、「く」通称的な漢字、悪口として、「あいつは馬鹿だ」といふ。また、「く」通称的な漢字、悪口として、「あいつは馬鹿だ」といふ。また、「く」通称的な漢字、悪口として、「あいつは馬鹿だ」といふ。



④ 持って帰るのが、ひと苦労

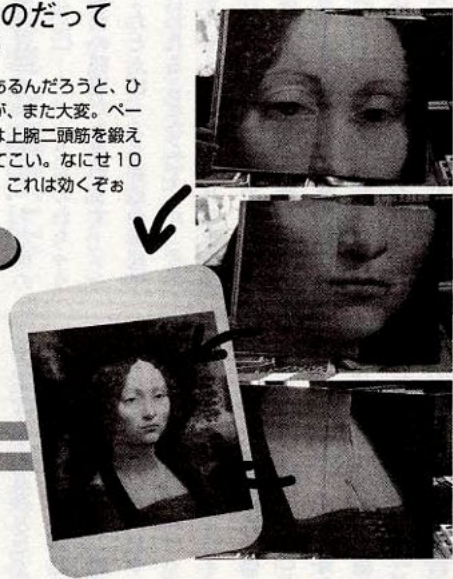
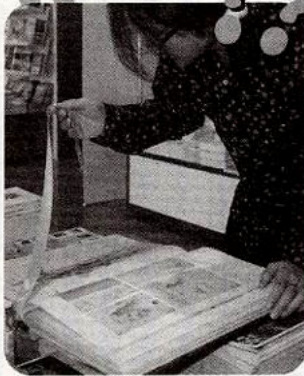
抱っこは、角が腕に当たってイタイ。おんぶは腰がもうたまらん！意外にも頭上は、持ち帰り姿勢が一番楽だった。東南アジアの人々の知恵はスゴイ。ま、家に着くまでがかなり恥ずかしいけどね



④ 奥付見るのだってひと苦労

奥付はどこにあるんだろうと、ひっくり返すのが、また大変。ページを繰る動作は上腕二頭筋を鍛えるのにもってこい。なにせ10*近いわけで、これは効くぞお

⑤ これってふつうのリボン？
プレゼントのラッピングにも使えそうな、巨大なスピン（しおり）。おさげ髪を結わくとか、古紙回収の結び目とか。いろいろ利用できそうです



目・鼻・胸元の細部も見開きで。ここまで大きくされるとは、ダ・ヴィンチも想像しなかっただろうに

丸の内OAZOに9月14日オープンした、丸善・丸の内本店。国内書店では最大級



が、当店では週に1、2冊のペースで売れていますね」
カパーも、やっぱり巨大本専用のがあるんですか？
「見本などに使うビニールシートをおつけすることはできません。できますけども……、つけてもどうかかと（笑）」
「紙袋を二重にしたり、箱も持ち帰る場合は箱ごと包装紙をかけて手提げをつけています。1万円以上のお買い上げで都内と近県は配送代が無料になりますので、配送をおすすめしていますけど、すぐ見たいからと持ち帰るお客さまが案外多いですね」



「バカの大時代」でわかる「現代」

⤴ **立ち読みするのも、ひと苦労**

長時間の立ち読みは腰に来るので、一気読みは厳禁。1回10分を3セットとか、休憩を適宜はさむべし。背筋も鍛えられて、一石二鳥





⤴ **一際異彩を放つ、恐竜サイズ**

「ナンダコレハ……」ダ・ヴィンチ関連本コーナーの中央でデーンと構えていたこの本に、バカの嗅覚が反応。まがう方なくバカ感を醸してるんだもん。こうも大きくなると、絵を鑑賞するというより、ここで筆が止まったんじゃないかとか、客観的かつ研究的(?)まなざしになるから不思議。発色もさぞ色校が大変だったろうなと思わせる美しさ







⤴ **過剰なディテールアップ**

片ページ(左)で見ると何てことない、子どもの絵である。だが、このアップはどうだ。目つきが怖いよ〜

「レオナルド・ダ・ヴィンチ 全絵画作品・素描集」
体重計で重さを測ってみると何と約10kg。コメの大袋と同じじゃん。ちなみに「吾輩は猫である」の文庫は約250g。重さのバカバカしさでは、漱石の40倍。ダ・ヴィンチの勝ち〜



タッシュン・ジャパン / 2万6250円

大きさ、重さはしばしば質というか衝動性に転化する……

重さ約10kg。バカでかい本。でも週に1、2冊売れてます

「大型店舗ではほぼ置いていません。『ダ・ヴィンチ・コード』の影響かどうかは分かりませんが、買う人って実際にいます?」

丸の内本店)

「和英の大辞典などでも大判の本は比較的良好に売れています。少数限定の写真集などでは、もっと大きな、小学校の机サイズも珍しくないですよ」(丸善丸の内本店)

これは本ではない。コメだ。丸善丸の内本店3階のダ・ヴィンチコーナーでその本を見つければ、思わずうなった。なにせ約10kg。とにかく、お重い。それにしても、こんなに巨大な本が平積みされてるのも珍しい気がするけど。

「棚の高さの問題もありますので置き方は苦労するところですよ。これはたまたまダ・ヴィンチのコーナーで平積みにしてますが、通常は大型本コーナーにまとめることが多いです。」

 バカ豆知識 | しばしば痴愚の男たちでも適切なことを言う。(『痴愚礼讃』 エラスムス/慶應義塾大学出版会)

74